

禁煙治療が受けられます



■保険適用の条件

次の条件をすべて満たす方は、保険適用で禁煙治療が受けられます。

1. 直ちに禁煙をしようと考えている
2. ニコチン依存度の診断テスト（下記参照）で「はい」が5つ以上である
3. 医療機関で禁煙治療の同意書に署名を求められることに同意する
4. 喫煙年数×1日平均喫煙本数が **200以上** である

例) 20年間、1日平均20本喫煙している場合、

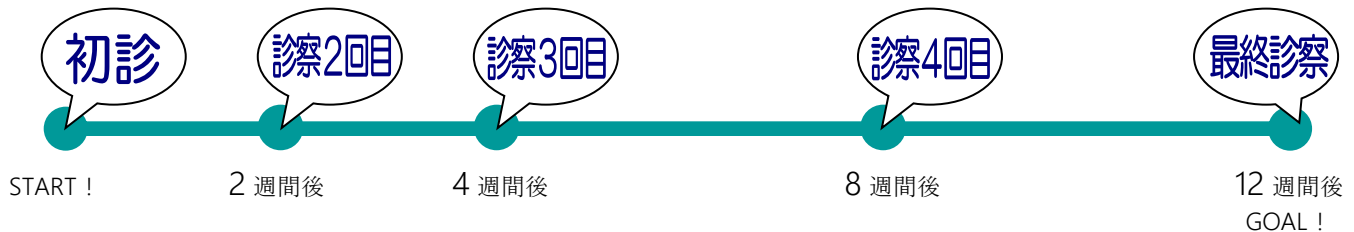
34歳以下の方は、2016年4月より4つ目の条件を満たす必要がなくなりました。そのため、比較的若く、喫煙年数の少ない方も禁煙治療が可能となりました！

ニコチン依存症の診断テスト ※当てはまるものは1つとしてカウントしてください。

- 問1 自分が吸うつもりよりもずっと多くたばこを吸ってしまうことがある。
- 問2 禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかったことがある。
- 問3 禁煙や本数を減らそうとしたときに、タバコがほしくてほしくてたまらなくなることもある。
- 問4 禁煙や本数を減らしたときに、次のどれかがある。（イライラ、神経質、落ち着かない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重増加）
- 問5 問4の症状を消すために、またタバコを吸い始めることがある。
- 問6 重い病気にかかったときに、タバコはよくないとわかっているのに吸うことがある。
- 問7 タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっているのに、吸うことがある。
- 問8 タバコのために自分に精神的問題が起きているとわかっているのに、吸うことがある。
- 問9 自分はタバコに依存していると感じることがある。
- 問10 タバコが吸えないような仕事や付き合いを避けることが何度かある。

どんな治療をするの？

■治療スケジュールは12週間



■治療の方法は2種類

禁煙治療の方法	ニコチンパッチ (処方薬)	バレニクリン (処方薬 飲み薬)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ニコチンを皮膚から吸収させる貼り薬。 禁煙してから使用を開始し、8週間を目安に使用する。貼り薬のサイズは大きいものから小さいものに切り替えて使用する。 高用量のものは医療用のみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ニコチンを含まない飲み薬。 禁煙時の離脱症状だけでなく、喫煙による満足感も抑制する。 飲み始めの1週間は喫煙してもOK、2週目から禁煙を開始し、12週間服用する。
費用の目安 (3割負担の場合)	13,080 円	19,660 円

※ 市販の医薬品にもニコチンパッチがありますが、上記は処方薬のニコチンパッチについて説明しています。

※ 本チラシは、厚生労働省 禁煙支援マニュアル(第2版)増補改訂版に基づき作成しています